

一般財団法人千葉陸上競技協会

第 3 7 回理事会議事録

令和 3 年 4 月 1 8 日

一般財団法人千葉陸上競技協会

代 表 理 事：

議事録署名人：

議事録署名人：

第 3 7 回理事会

日 時 令和 3 年 4 月 1 8 日(日) 午後 1 4 時
会 場 千葉県総合スポーツセンター 陸上競技場会議室
出席状況 出席 2 8 名 欠席 2 名 計 2 8 / 3 0

議事内容

- (1) 令和 3 年度千葉陸上競技協会栄章贈与候補者(案)について
- (2) 令和 3 ~ 4 年度専門委員長の選任(案)について

報告内容

- (1) 令和 3 ~ 4 年度理事候補者について
- (2) 関東陸上競技協会理事会について
- (3) 各専門委員会より
- (4) その他

1 開会 午後 1 4 時

2 定数確認(木内専務理事)

定数 3 0 出席 2 8 名 欠席 2 名 計 2 8 / 3 0

定款第 3 7 条により、本理事会は成立する。

3 会長挨拶(高津副会長より)

(要旨) 本日、宇野会長が公務により欠席の為、高津より挨拶を申し上げます。お忙しい中、理事会への出席に感謝申し上げます。先週より記録会も始まり今シーズンがスタートした。全国的に新型コロナウイルス感染症により大変な状況だが、安全対策のもと、大会運営に尽力を願う。本日の理事会においては重要な議案もあり、慎重な審議を願う。

4 議長選出

木内専務理事から説明があった。

- ・議長選出については定款第 3 6 条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。定款に従い、宇野会長が本日欠席の為、業務執行理事である長谷川副会長に議長をお願いする。

5 議事録署名人

長谷川副会長から説明があった。

- ・定款第41条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。代表理事として小松崎監事、門目監事に願います。

6 議 事

議案（1）令和3年度千葉陸上競技協会栄章贈与候補者（案）について

議長から、議案（1）について、市東総務委員長に説明するよう指示があった。

（市東総務委員長）

別紙、令和3年度千葉陸上競技協会栄章贈与候補者（案）の資料参照を願いたい。午前中に行われた栄章委員会を経て、以下の候補者（案）を推薦する。

①千葉県スポーツ協会功労章贈与候補者

岩脇 充司氏 58歳 （TAC）

②千葉陸上競技協会功労章贈与候補者

金綱 哲氏 72歳 （茂原市陸上競技協会）

伊藤 定義氏 72歳 （市原市陸上競技協会）

佐藤 孝行氏 55歳 （轟アスレチックコミック）

③関東陸上競技協会感謝状贈与候補者

那須川 豊氏 70歳 （千葉マスターズ`陸上競技クラブ`）

根本 義幸氏 67歳 （袖ヶ浦市陸上競技協会）

富澤 憲一氏 62歳 （松戸市陸上競技協会）

③安藤百福記念章

岩城 節臣氏 36歳 （RUNchers TFC）

④勲功章

石井 優吉氏 （八千代松陰高等学校） 800m 1分50秒21

坂東 悠太氏 （富士通） 5000m 13分14秒59

小澤 優太氏 （ATC） 4×100m 40秒10

根岸 紀仁氏 （ATC） 4×100m 40秒10

大久保 公彦氏 （ATC） 4×100m 40秒10

相山 慶太郎氏 （ATC） 4×400m 3分12秒31

牧野 友哉氏 （四街道市立西中学校） 棒高跳び 4m50

⑤千葉県最高記録章

坂東 悠太氏 (富士通) 5 0 0 0 m 1 3 分 1 4 秒 5 9

高橋 英輝氏 (富士通) 1 0 0 0 0 mW 3 7 分 2 5 秒 2 1

⑥千葉県高校新記録章

藤田 真美加氏 (成田高等学校) 5 0 0 0 mW 2 2 分 5 6 秒 2 6

⑦千葉県中学新記録章

該当者なし。

議長から、質問及び意見が求められたが特になく、承認された。

議案 (2) 令和 3~4 年度専門委員長の選任 (案) について

議長から、議案 (2) について、木内専務理事に説明するよう指示があった。

(木内専務理事)

令和 3~4 年度専門委員長 (案) について、理事会で協議の上、承認を得て、会長が委嘱する規定である。4 名の委員長を推薦し、審議を願う。

総務委員会委員長 市東 和代氏

競技運営委員会委員長 伊藤 信夫氏

強化委員会委員長 伊東 謙二氏

施設用器具委員会委員長 松本 健氏

議長から、質問及び意見が求められたが特になく、承認された。

7 報告事項

報告事項 (1) 令和 3~4 年度理事候補者について

議長から木内専務理事に、令和 3~4 年度理事候補者について、報告をするよう指示があった。

(木内専務理事)

前回理事会において、理事候補者については報告をしている。規定 9 条に会長が推薦する有識者 1 4 名以内という規定があり、次回評議委員会に諮る有識者を報告する。

宇野 裕氏、木内 俊秀氏、長谷川 良介氏、岩本 一雄氏、市東 和代氏、

伊藤 信夫氏、伊東 謙二氏、松本 健氏、秋葉 麻帆氏、舟橋 昭太氏、

中村 明氏、香取 憲吾氏、鈴木 久一氏、鈴木 小夜子氏、

報告事項（２）関東陸上競技協会理事会より

議長から木内理事に、関東陸上競技協会理事会の報告をするよう指示があった。

（木内理事）

令和３年４月２日（金）第１回関東陸上競技協会理事会の報告をする。別途資料参照を願う。詳細は別途資料を持って報告とする。

- ・日本陸連秩父宮章に本県の高津乙郎氏（関東陸協推薦）並びに舟橋昭太氏（全国中体連推薦）が決定した。
- ・日本陸上競技連盟理事に神奈川県吉田専務理事と本県木内専務理事が推薦された。
- ・国体種目について、２２年栃木国体、２３年鹿児島国体（特別開催）、２４年佐賀国体の３年間は同種目で開催される。
- ・令和元年度関東選手権優勝者並びにチームは、令和２年度中止により、令和３年度は関東選手権の参加料は無料である。
- ・他県の大会に出場する際に使用していた出場認知書は、廃止となる。
- ・令和３年度関東陸上競技協会行事計画について、別途資料を持って報告とする。

報告事項（３）専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長が説明をした。

総務委員会（市東委員長）

- ・市東委員長より、特に報告はなかったが、日本陸連登録料の徴収に伴う、千葉陸上競技協会への団体登録や審判登録の現状を事務局中村理事より報告することを願う。

（中村理事）

- ・団体登録数や個人登録数は、例年通りの数である。また、審判６５歳以上の委嘱制限があるが、思ったより登録数は減少していない状況である。

競技運営委員会（伊藤委員長）

- ・令和３年度の審判講習会を、令和３年３月２８日（日）千葉大学で実施した。
- ・新Ｂ級審判実技講習を今回の記録会で実施している。
- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、競技会運営を進める。

強化委員会（伊東委員長）

- ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、強化合宿への準備を進めている。
- ・国体新種目への競技場対応など、千葉陸上競技協会の配慮に感謝する。
- ・本県の国体成年選手が、減少している状況が見られる。本県で競技ができる環境等の対策が、今後の課題である。

施設用器具委員会（松本委員長）

- ・陸上競技場の公認検定作業は順調である。各理事からも、地域の陸上競技場の検定に関わる要望があれば、施設用器具委員会に申し出ていただきたい。
- ・アクアラインマラソンの検定については、県の状況に応じて進める。

学連（越川理事）

- ・関東インカレ 5 月実施する。
- ・松戸国際高校出身、村竹ラシッド選手（順大）が 4 大学対抗戦 110mH で優勝する。

高体連（香取委員長）

- ・令和 3 年度高体連関係の大会は、例年通り実施予定である。新型コロナウイルス感染症対策のもと大会運営を進める。今後も千葉陸上競技協会の協力を願う。

中体連（舟橋委員長）

- ・令和 3 年度中体連関係の大会は、例年通り実施予定である。
- ・U16、U18 の記録会実施にあたり、中体連と高体連が合同の運営となる。運営に向けて協力を願う。

マスターズ（鈴木理事）

- ・今年度のマスターズ記録会や選手権の参加は、本県会員限定で実施する。審判等の協力を願う。
- ・要望として。第 1 種公認陸上競技場に、マスターズ種目の競技備品を保管できないか。現状は、運営者が個人保管し、大会ごとに持ち運びをしている。今後の検討を願う。

8 その他

（意見 塩谷理事より）

- ・栄章にある関東陸上競技協会感謝状贈与者について、本来は千葉陸上競技協会功労章を贈与された者から、関東陸協感謝状贈与者が推薦されるのではないかと。

（長谷川副会長より）

- ・過去の千葉陸上競技協会の現状、並びに関東陸上競技協会感謝状を贈与する経緯を説明する。

（意見 中村理事）

- ・千葉陸上競技協会功労章を授与されるためには、まず関東陸協感謝状を授与されてか

らと言う過去の流れはある。今回その流れを見直してはどうか。

(長谷川副会長より)

- ・千葉県功労賞並びに関東陸協感謝状贈与に関しては、栄章委員会で協議していただく。

(意見 中村理事)

- ・合わせて、65歳以上の審判委員に贈与している千葉陸上競技協会感謝状についても、贈与する規約を協議いただくことを願う。

(意見 奥田理事)

- ・審判員の多くの方は、いろいろな意見を持っている。その意見が反映されず改善されていない現状がある。審判の意見が反映できるように改善されることを強く願う。
- ・HPを含めた情報発信の在り方を再考し、明確な発信を願う。
- ・審判に精通している者が、身障者の大会や練習会に参加する人数が極端に少ない現状がある。千葉陸上競技協会として、積極的に協力することを願う。

(意見 塩谷理事)

- ・65歳以上の審判員への配慮はわかるが、規約は必要と考える。
- ・千葉陸上競技協会が法人であり、各理事に係るその責任は非常に重い。立場をしっかりと認識し、千葉陸上競技協会の今後の活躍を願う。

(木内専務理事)

- ・貴重なご意見、感謝申し上げます。次回理事会が任期最後の理事会となるので、よろしくお願い申し上げます。

9 閉会

長谷川副会長から閉会が宣言された。

午後14時55分 閉会